

こずっち会議@風早南部地域（報告）

■日 時 令和元年11月30日（土）午前10時から12時

■場 所 高柳近隣センター 多目的ホール

■出席者 風早南部地域ふるさと協議会 9名
風早南部地域に住む若い世代 11名

■趣 旨

平成30年度に柏市と各地域のふるさと協議会で、地域課題の検討を行なう「地域懇談会」を行ないました。この懇談会の中では、高齢化が進み、子どもの取り巻く環境も変化している現在、地域はもっと若い世代との連携が必要であるとの意見が多くありました。

事前に学校の御協力により、風早南部地域の小中学校の保護者へアンケートを行なったところ、日頃から地域のために活動をしている「ふるさと協議会」の認知度が低かったことも分かりました。また、ふるさと協議会も、若い世代の生の声を聞いてみたいとのことから、お互いを知り合うことを目的にまずは、「子どもが住みよい地域にするには」をテーマに、意見交換を行なったものです。

Aグループ



■ 主な意見

ものづくり体験

- ・ものづくり（押し花，小物）子どもに体験してもらう
- ・やってくれるのは「やなぎの木」70代くらいの方々の団体。
- ・学校のお祭り，小学校の授業にて行なっている（高柳小，高柳西小，風早小）。
- ・すごく子供たちに人気。もっとあったらいい。もちつき，豚汁作りもやってくれている。
- ・楽しかった体験は心に残る。
- ・今のこどものセンスを知れて，ものづくりを一緒にやるのも面白い。
- ・習うだけで終わり。次に繋がらないのが課題。
- ・子供が学ぶたくさんの機会はある。でも，学区外だから親の都合がつかなくて行けないことが多い。
- ・とっかかりは学校を通じてがいい（文化祭など）。そこから好きなことを見つけて習い始めるという形がいいと思う。
- ・体験だけでなく，さらに深く学べるといい（手賀の少年自然の家ではできる）次の世代につなげたい。
- ・学校で配るイベントのPRは親にだけでなく，子どもへしては？

場所・学校

- ・高柳西保育園で，しいの木台区の人達にむけてクリスマス会をやる。
- ・ニュースポーツのイベントが多い。この地域の子はふれる機会が多い
→多世代交流できる。

昔遊び

- ・昔遊びなどで子どもと関わっている。
- ・多世代交流のところで，ベーゴマ，メンコなど教えてもらえるのはいい。母親世代もわからない。
- ・お母さん達もミシンのかけ方など習う機会が少ないのでは。多世代で住んでいないから？昔の技術，遊びなど，親も先生もできない世代になっている。
- ・子どもが少なく，子どもの声が聞こえてこない。さびしい。（藤ヶ谷新田，小1～小6で16人くらい）

- ・ぞうり作り，ふるさと協議会でやっているが，子どもはあまり来ていない。
- ・講習会をやるようにしている（ものづくり）。昔遊びについても継続的にできるといい（次世代へつないでいくため）。

担い手

Q：男性は現役の時も地域の活動をしていた？

A：自分はしていなかった。今はしいの木台の若い人，お祭りの委員をしてくれている。

Q：どの行事に行っても，限られた人でまわっている？

A：防災会，お祭りの委員は毎年替わることになっている。若い人が入ってきてくれている。一度やってくれた若い人がそれっきりになるのがもったいない！きっかけにはなるが，継続できるといい。

見守り・交通

- ・駅の開発により，交通事情が変わってきている。
- ・歩道がない。危ないところがある。
- ・学校で（小中学生）子供たちは安全マップを作っている。
- ・高校生や大人の方が交通ルールが守れていない（子どもは守れている）。

B グループ



■ 主な意見

遊び場所

- ・何かをやりたい時に「使える場所」があると良い。
- ・外で遊ぶ場所がない（小中学生くらいの子たち）外でもゲーム
- ・ドッグランで自然な出会いが生まれる。
- ・遊具がこわれている公園が多い。
- ・「ここで遊べるようになったらいいのに」と思う空地が多い。
→ふるさと協議会で借りたりして周知するのはどうか？
- ・小さい公園が多いけど，大きい公園が少ない。
- ・中国では公園で多世代が様々な「交流」「遊び」をしている。

ふる協

- ・社会福祉協議会とふるさと協議会の区分が難しい。
- ・「ふるさと協議会」が浸透してない・・・町会にも若い人にも。
- ・見守れていると安心する！
- ・ふるさと協議会は広すぎる？
- ・誰がどうやって運営しているか知りたい。

イベント

- ・昔に比べて「フェス」が増えてきた。
- ・高柳まつりは他地域の人にも楽しみにしている。
- ・子供たちが忙しいこともある親も・・・
- ・ふるさと協議会のイベントに参加してよかった。
- ・子どもが住みよい地域にするためには，子どもたちで話合ってもらうのがイチバン！
- ・地域で空き地のゴミひろいを定期的にやるが，ゴミが落ちていない→何か他のことをやったほうがいい？

Cグループ



■ 主な意見

情報収集・情報伝達

- ・地域の情報が入ってこない。
- ・1人が知っていたら口コミで教えてもらえる。
- ・こんなにたくさんイベントやっている却不知道と、やっていないんだと思ってしまう。
- ・PR方法に工夫する必要がある。
- ・回覧板を見ないと情報が取れない。そのほかでどこでとれるのか。
- ・高柳児童センターでは、先生に行事を伝えている。チラシ掲示は無し。
- ・たくさんのイベントが、どうすれば知れるのか。
- ・子どもの行事は学校を通して周知している。
- ・情報を発信して下さっているのに届いていない。
- ・小学校が会場になっている行事は、小学校に行っていないとわからない。
- ・興味がある人をつかまえる事が大事、そのためにもQRコードを毎回つけることが重要。
- ・その人の手元に残るものを作らないと、情報が抜けてしまう。
- ・茶論だより（月2回発行）には小中学校のスケジュールが載っている。
- ・ふる協＝ふるさと協議会。スマホサイトは「風早南部ふる協」で検索。

子どもを楽しませること

- ・お祭りのくじ抽選の時間が夜9時10時だと子どもは残れない。
- ・高額な商品を賞品にするより、かき氷50円引券でも充分楽しいと思う。
- ・稲狩りは（対象年齢じゃなくてもよいが）小学5年生が対象。
- ・皆で連れ立って行事に行く事がないと感じる。
- ・季節のイベントはお金を払ってでも行きたい。
- ・小さい事（手作り工作、イベント）でも、地域の人とやったら楽しい。
- ・自分の子どもの時の楽しいイメージがあり自分の子どもにもワクワクさせたい。

組織・イベント

- ・「やなぎの木」→もちつき大会やってる@高柳小，高柳西小
- ・高柳西小のお祭りに参加した。
- ・区は自らやってる訳ではなく、各団体に助成を出している。

- ・ 図書館使っている高柳小のお祭り，ふる協まつりに参加している。
- ・ 5月「たまごまつり」他にも田植え，稲狩り，花火大会，芋煮会。
- ・ 他地域の人が行事にきてもいいと思う。
- ・ 児童センターを利用している。高柳小の夏まつりは行っている。
- ・ 町会自治会区以外の団体がたくさんある。
- ・ まつりは「まつり会」という団体がやっている。ふるさと協議会は各団体をサポートしている。

Dグループ

■主な意見

地域性

- ・大規模開発，集合住宅の課題がある。
- ・屋号で呼び合う地域。
- ・家が少ない。農家が多い。歩道が少ない。暗い所が多い。
- ・出来上がったコミュニティーに入りにくい。
- ・安心してカギを預けられる関係性。
- ・地域活動をしてみると楽しい。
- ・川向こうとのへだたり！？
- ・川沿いの環境は子どもの宝。



ふる協

- ・PTAや民生員からふるさと協議会へ関わる。
- ・町会長から気軽に→ふるさと協議会へ
- ・ふるさと協議会のイメージ→年配の方，窓口がわからない。

親のネットワーク

- ・ママ友をつなげる仕掛けづくり
- ・同世代ママネットワーク，道路でバーベキュー，通りで運動会。
- ・子どもの成長に伴って関係が薄くなる。

イベント・連携

- ・高柳まつり，ふるさとを感じる。
- ・地域と学校の連携。
- ・多世代は子どもから親へ広がる。

その他

- ・アリオのホテル大丈夫？
- ・自衛隊がある。

こずっち会議@風早南部地域

当日の様子

